

愛鷹連峰の難所・鋸岳

2013.11.29 金・快晴 Uさんと

富士山の展望台・愛鷹山は日本二百名山でもあり、前々から登山の候補地にリストアップしてあった山ですが、なかなか実現しませんでした。蓬萊山～位牌岳間は「登山自粛区間」になっています。ネットで調べている内に歩きたくなりました。日が短くなってきているので、今回はその区間にスポットをあてての山行になりました。次回は山神社～黒岳～富士見峠～越前岳～呼子岳と歩きます。(アシタカツツジ・コイワサクラの咲く、来年のGW前後に) 快晴で富士山を眺めながらの素晴らしい山行でした。

3:45～6:00 一宮御坂IC～7:45 山神社登山口 8:00～8:50 北沢分岐 8:55 大杉 9:00～9:50 割石峠 10:00～10:08 蓬萊山(1296M) 10:20～12:15 位牌岳(1458M.昼食) 12:50～13:30 前岳 13:40～14:35 東沢分岐～15:10 山神社登山口 15:20～山中湖・紅富士の湯入浴～20:25 帰宅 総走行 212KM

予定より早く家を出たので余裕と思っていたら、約束の7:30～7:45の集合時間に遅刻してしまいました。山神社の手前に鹿がいて驚いた。増え過ぎだ。寒波で河口湖近くでは「マイナス6度C」の電光掲示が出ていた。(帰路は1度C) この日の大町市の最低気温がマイナス2.6度C、県内で最低だった佐久がマイナス4.6度Cだったから寒い場所だ。海拔は1000Mの山中湖はかつては全面結氷してスケートや穴釣りのメッカだったのがうなずける。それにしても想定外の寒さで登山道は帰路の温度が上がるはずの14:00頃でも一面の霜柱であった。40CM位に伸びたツララもあった。駐車場は平日とは言え天候が良いのに我々の車だけ。往路の割石峠までは谷間の沢伝いで展望はまったく無。

割石峠



上部は沢の中の歩きズライ道で道間違いの無いようにとケルンも沢山あった。割石峠のすぐ上の「天狗の畑」からは駿河湾や伊豆半島が望めた。アシタカツツジの多い登山道を蓬萊山へ。これから歩く難所の区間を眺める。なるほど鋸の刃のような山並みだ。でも山頂を上り下りするのでは無くて山腹をトラバースするのみのような。どんな難所か胸が少し高まる。登山禁止では無く「自粛区間」のような。すぐ鎖やロープの連続になるが、ネットで書かれたほどの危険性はほとんど感じなかった。崩れやすいもろい岩ではあるが。何故か梯子は一つもなかった気がする。

日の出前の河口湖畔から



一面に霜柱



割石の由来か V 字に



その人の登山歴の相違かなと思った。チョット当てが外れた感じでなんとなく通過する。右に海・左は富士山を眺めながらの素晴らしい登山道だ。丁度落葉したので見られるが葉のある時期は？位牌岳の手前で地図には掲載されていない下山道（大沢入り林道分岐？）の標識があった。アシタカブナの木が多い。あまり太く無く、樹高も低く、枝分かれ部分も低い珍しいブナの木だ。調査の看板が幾つも見られた。天城山に多かったヒメシヤラも目につく。位牌岳山頂は広い、越前岳の右には富士山がドッシリと。それにしても薄気味悪い・縁起の悪い山名だ。その昔隣の鋸岳で滑落等で沢山の登山者が亡くなり、その死者達の位牌が多く並べられた所から命名されたとのもっともらしい記述もあったが。

呼子岳と駿河湾



警告文



警告文の裏には無事よかったネ！
アリガトウと落書きがあり



核心部

これから歩く、難所の鋸山越えと
右上位牌岳、左前岳



鎖場通過



もろい岩場のロープ



悪場のへつり



兎も角無事に到着してなによりです。(位牌化せれずに) 気になったのは前岳方面への案内板が無い事でした。前岳山頂は山名標も古い物。此处からの下山道は特筆ものでした。

アシタカブナの木



兎に角急な下山道です。アルプス三大急坂も顔負けです。膝の弱い二人にとっては大変。Uさんはすかさずサポーターを装着するが、私は無防備（トレッキングタイツもサポーターも持参せず）。ストックを上手に使い、木の枝に捕まっての下山が50分続く。Uさん曰く「登りにこのコースを使わず良かった」と。私は明日も休み、天候も良さそうなので河口湖周辺の宿に泊まって毛無山～十二ヶ岳～鬼ヶ岳～王岳と歩こうと思っていましたが、前岳からの急坂の下山で膝もダメージ受けていそうなので中止にする。今日はとうとう誰にも会わない登山でした。

調査票



位牌岳にも



位牌岳の警告文と富士山



位牌岳山頂



絶景です



山神社登山口



紅富士の湯で入浴して帰宅することにする。紅富士の湯は浴槽からの富士山の眺めがすばらしい温泉で好きです。諏訪南 IC 付近から小雪がパラツイテきたので普通タイヤなので休憩無で家路を急ぐ、降雪は自宅まで続いた。帰宅後のビールがとても美味しかった。（この所、寒いのでビールはほとんど飲まなかったのもあり）